

激戦突破 当選相次ぐ

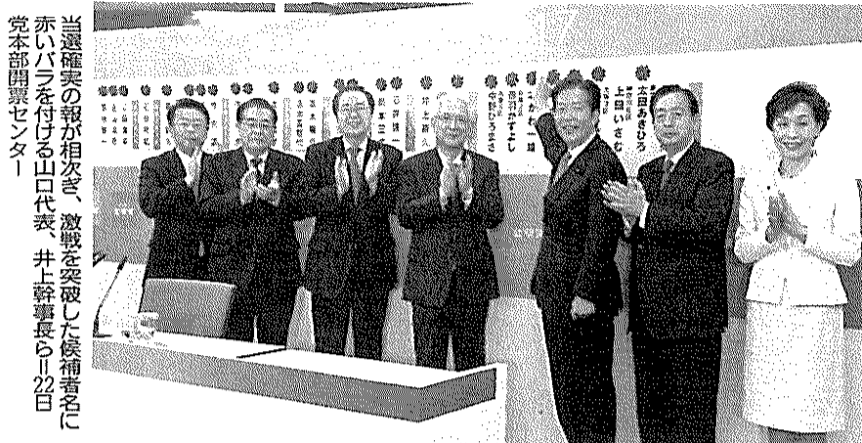
北海道・稲津氏 逆転勝利

小選挙区 東京、大阪、兵庫でも

自公政権信任



全国最激戦区を大逆転で勝ち抜き、喜び合う稲津久氏と党員、支持者ら=22日 北海道岩見沢市



当選確実の報が相次ぎ、激戦を突破した候補者名に赤いバラを付ける山口代表、井上幹事長ら=22日 党本部開票センター



激しい一騎打ちを見事に制し、喜びを爆発させる北側一雄氏と党員、支持者ら=22日 堺市堺区



相手候補の猛追を振り切り当選を確実にした太田昭宏氏と、喜ぶ党員、支持者ら=22日 東京・北区



最後まで攻め抜き、3回連続の当選を喜び合う国重徹氏と党員、支持者ら=22日 大阪市淀川区



「当選確実」となり、激戦突破を喜び合う佐藤茂樹氏と党員、支持者ら=22日 大阪市西成区



激戦を突破し8度目の当選を確実にして喜び合う赤羽一嘉氏と党員、支持者ら=22日 神戸市兵庫区



大激戦を勝ち抜き、3回目の当選を喜び合う伊佐進一氏と党員、支持者ら=22日 大阪・守口市



比例東京都ブロックの2議席確保を喜び合う高木陽介氏と高木美智代さんら=22日 東京・新宿区



当確の一報を受け、激戦突破を喜び合う中野洋昌氏と党員、支持者ら=22日 兵庫・尼崎市

第48回衆議院総選挙は22日、投票された。公明党は午後11時すぎまでに、8小選挙区(北海道10区、東京19区、大阪3区、同5区、同6区、同16区、兵庫2区、同8区)で激戦を突破。比例区でも、19議席以上の獲得が確保となった。自民党も順調に議席を伸ばし、自民、公明の与党両党で過半数(293議席)を大きく上回ることが確実となった。公明党は今回の選挙戦で、幼児教育無償化をはじめとした教育費負担の軽減などを訴えた。献身的な支援をいただいた党員、支持者ならびに創価学会員の皆さまに心から感謝を申し上げます。

東京都新宿区の党本部内に設置された開票センター1では、山口那津男代表、井上義久幹事長ら党幹部が全国の開票状況を緊迫した表情で見守った。午後8時に投票が締め切られた直後、小選挙区で東京12区の太田昭宏氏、大阪3区の佐藤茂樹氏、大阪5区の国重徹氏、大阪6区の伊佐進一氏、兵庫8区の中野洋昌氏の当選確実が立て続けに報じられた。続いて、午後9時45分ごろ、大阪16区の北側一雄氏が当選を確実にした。一方、比例区も午後8時すぎに、東京都ブロックの高木陽介、高木美智代らの2氏を皮切りに、東北ブロックの井上幹事長、北関東ブロックの石井啓一、岡本三

成の2氏、南関東ブロックの富田茂之、古屋範子の2氏の当確の報が届いた。東海ブロックの大口善徳、伊藤沙の2氏、近畿ブロックの竹内譲、浮島智子、濱村進の3氏、中国ブロックの斎藤鉄夫氏、九州・沖縄ブロックの江田康幸、遠山清彦、濱地雅一の3氏も当選が確実になった。北海道ブロックの佐藤英道氏、北陸信越ブロックの新人・太田昌季氏、四国ブロックの石田祝穆氏も激戦を突破した。

相次ぐ当確の報を受け、午後10時すぎ、山口代表らは開票センター内に設けられた党公認候補一覧のボード前に集まり、当選確実となった小選挙区と比例区の候補者名に赤いバラを付け、喜び合った。山口代表、井上幹事長らはテレビやラジオ、インターネットの中継番組に相次ぎ出演し、「献身的にご支援いただいた党員、支持者の皆さまに心から感謝申し上げます」と謝意を表明した。その上で、今回の衆院選で「安定した自公政権が結

果を出していることを評価してもらった。公明党が多様な民意を政権運営に反映していく」と語った。